

2013年4月18日 全8頁

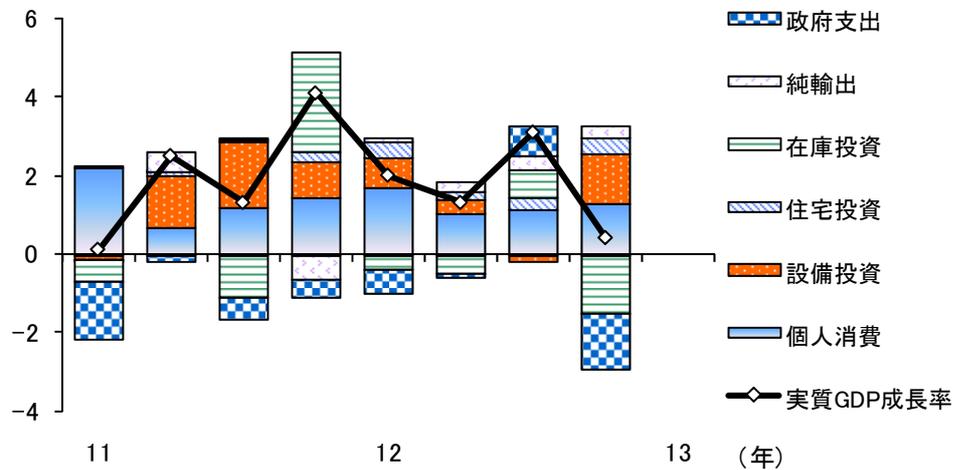
# アメリカ経済グラフポケット(2013年4月号)

2013年4月15日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター  
エコノミスト 笠原 滝平  
上野まな美

## 実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



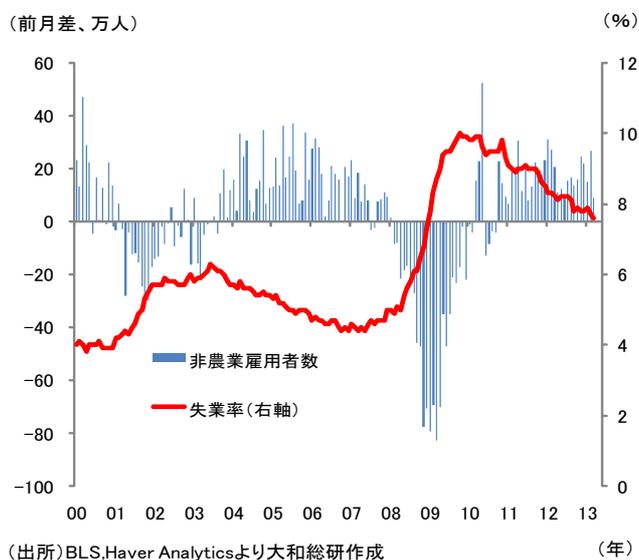
(前期比年率、%、%pt)	2011				2012			
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
国内総生産	0.1	2.5	1.3	4.1	2.0	1.3	3.1	0.4
個人消費	3.1	1.0	1.7	2.0	2.4	1.5	1.6	1.8
設備投資	-1.3	14.5	19.0	9.5	7.5	3.6	-1.8	13.2
住宅投資	-1.4	4.1	1.4	12.1	20.5	8.5	13.5	17.6
政府支出	-7.0	-0.8	-2.9	-2.2	-3.0	-0.7	3.9	-7.0
輸出	5.7	4.1	6.1	1.4	4.4	5.3	1.9	-2.8
輸入	4.3	0.1	4.7	4.9	3.1	2.8	-0.6	-4.2
寄与度								
個人消費	2.2	0.7	1.2	1.5	1.7	1.1	1.1	1.3
設備投資	-0.1	1.3	1.7	0.9	0.7	0.4	-0.2	1.3
住宅投資	0.0	0.1	0.0	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4
在庫投資	-0.5	0.0	-1.1	2.5	-0.4	-0.5	0.7	-1.5
政府支出	-1.5	-0.2	-0.6	-0.4	-0.6	-0.1	0.8	-1.4
輸出	0.8	0.6	0.8	0.2	0.6	0.7	0.3	-0.4
輸入	-0.7	0.0	-0.8	-0.9	-0.5	-0.5	0.1	0.7

(出所) BEA, Haver Analytics より大和総研作成

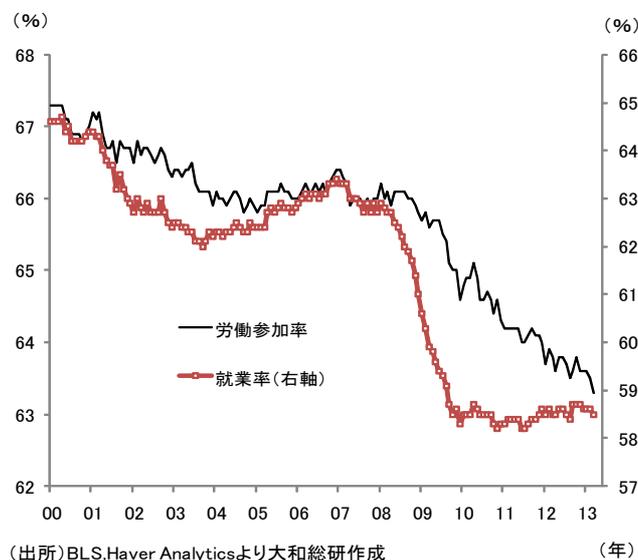
## 雇用環境

- ◆3月の失業率は前月差0.1%ポイント低下の7.6%。
- ◆ただし、労働参加率が63.3%と2月から0.2%ポイント低下した。
- ◆非農業雇用者数は前月差8.8万人増と、9ヶ月ぶりに10万人台の増加幅を下回った。
- ◆非農業雇用者数の前月差の6ヶ月移動平均は18.8万人増であった。

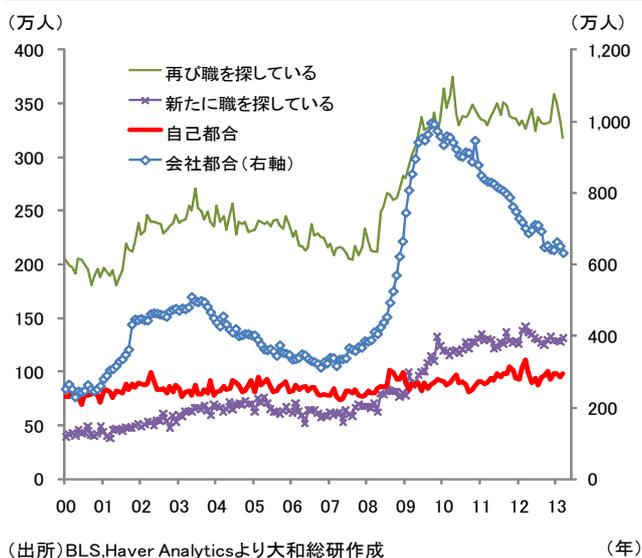
### 非農業雇用者数と失業率



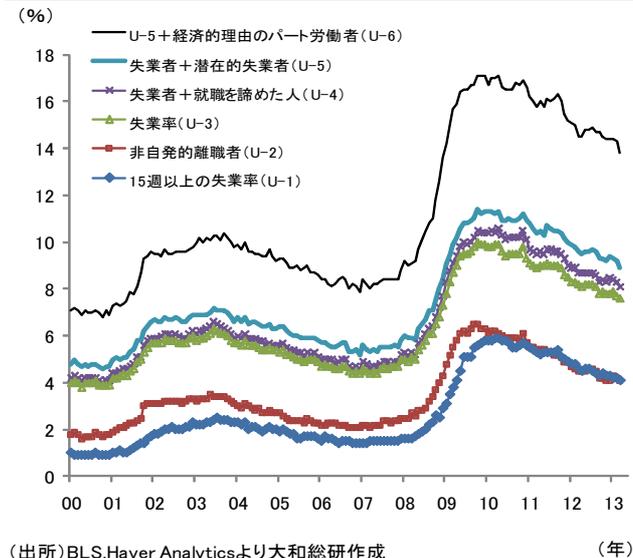
### 労働参加率と就業率



### 理由別失業者数



### 定義別失業率

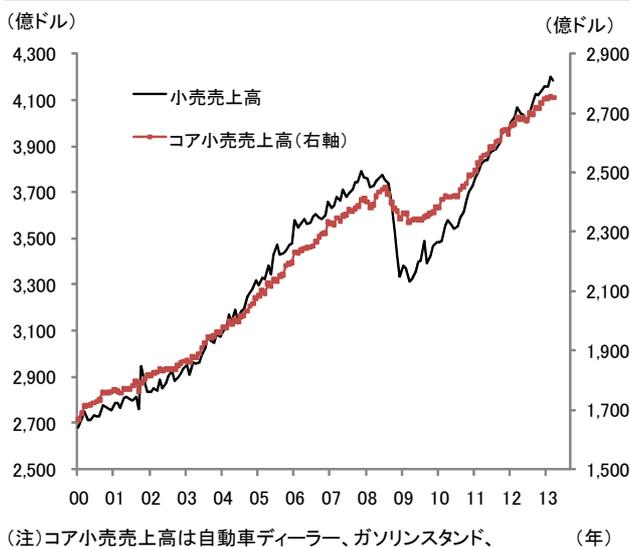


## 個人消費

◆3月の個人消費は小売売上高が前月比0.4%減で、9ヶ月ぶりの大幅なマイナスであった。コア小売売上高も前月比0.2%減となった。

◆3月の自動車販売台数は前月比0.8%減であったが、前年比7.9%増、自動車販売台数は年率換算1,520万台であった。5ヶ月連続で同1,500万台以上の販売台数を維持。

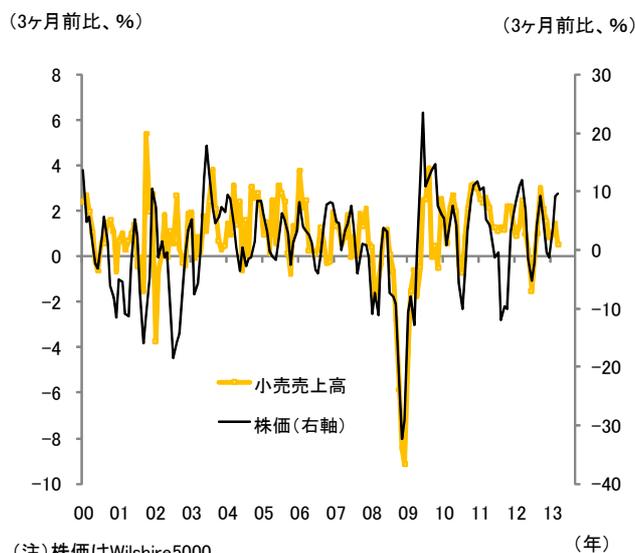
### 小売売上高の推移



(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、建材・園芸除く。

(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

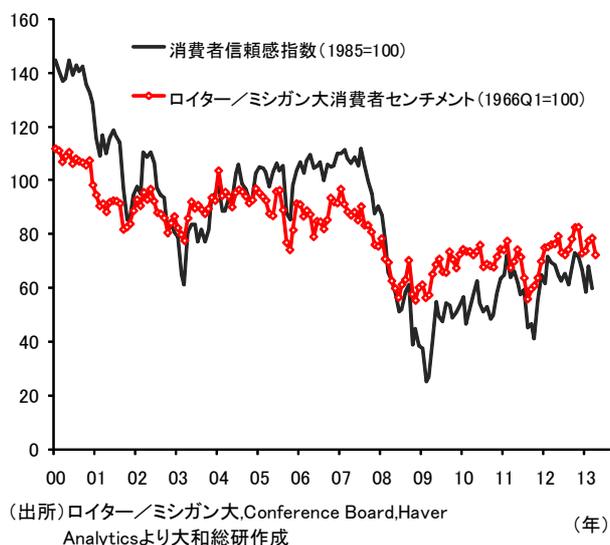
### 消費と株価



(注) 株価はWilshire5000。

(出所) Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

### 消費者マインド



(出所) ロイター／ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより大和総研作成

### 自動車販売台数

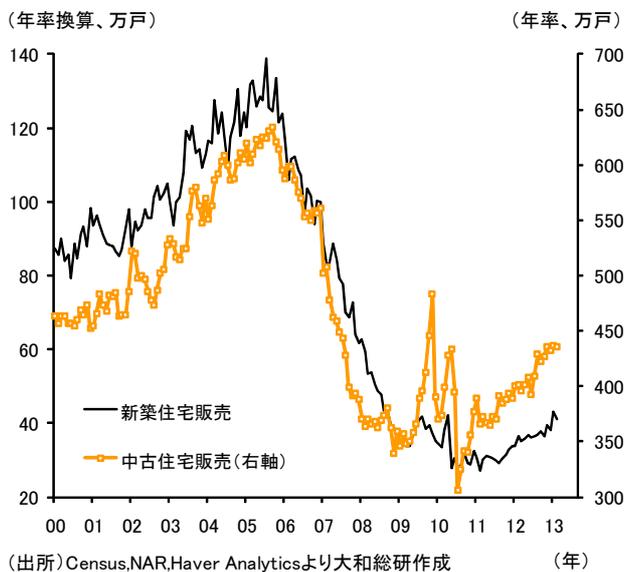


(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

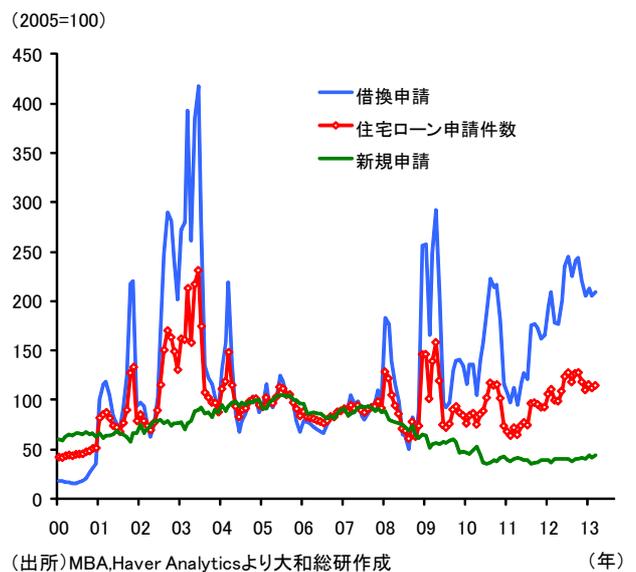
## 住宅市場

- ◆2月の新築着工は、年率換算 91.7 万戸で前月比 0.8%増。
- ◆中古住宅販売は、年率換算 436.0 万戸で前月比 0.2%減。
- ◆また、新築住宅販売は、年率換算 41.1 万戸で前月比 4.6%減。前月の 13.1%増からマイナスに転じた。

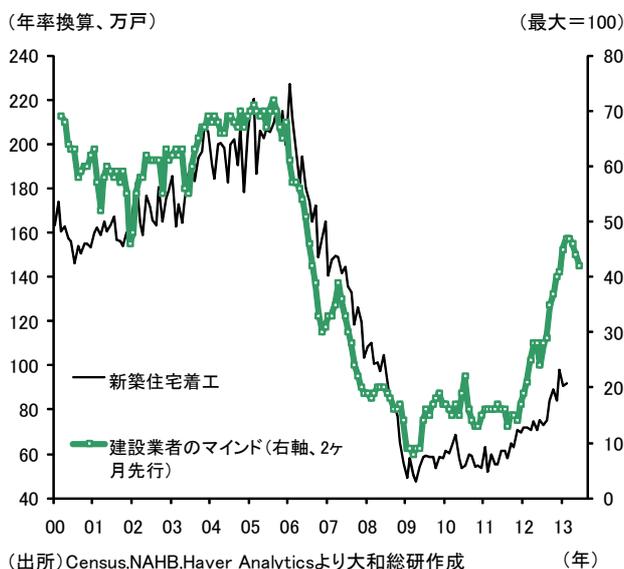
### 住宅販売(一戸建て)



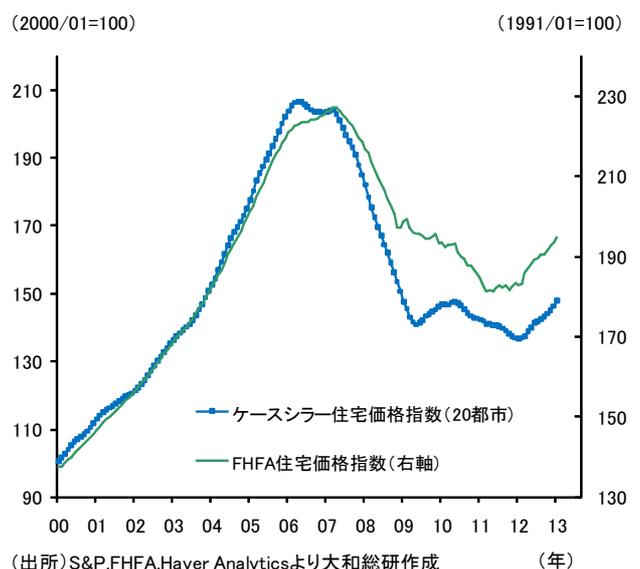
### 住宅ローン申請件数



### 住宅着工と建設業者のマインド



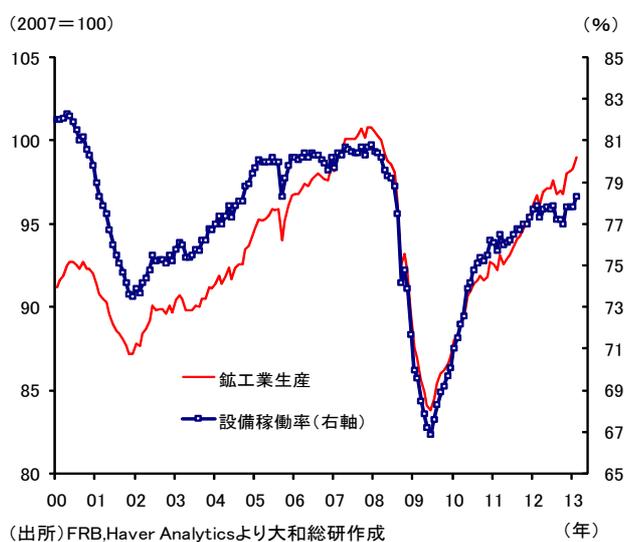
### 住宅価格



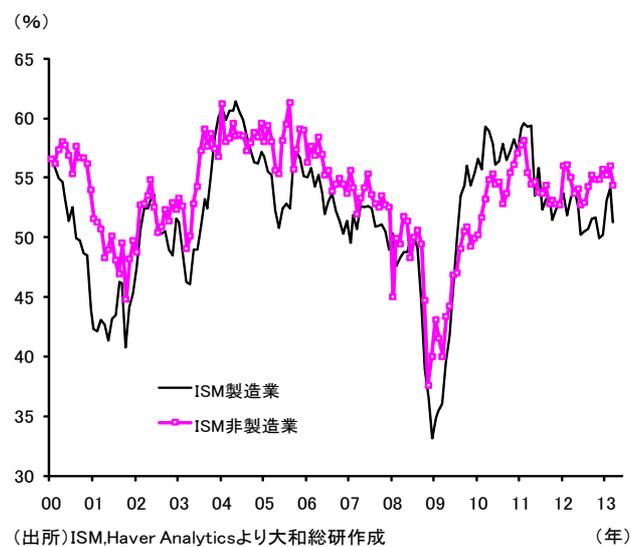
## 企業動向

- ◆2月の鉱工業生産指数は前月比0.8%増、製造業は同0.6%増となった。
- ◆2月の国防・航空機を除く資本財受注は前月比3.2%減で、1月の6.7%増から減少に転じ、2012年7月以来の大幅な落ち込みとなった。
- ◆3月のISM製造業指数は前月比2.9%ポイント低下し、4ヶ月ぶりに前月比マイナスとなった。非製造業指数も前月比1.6%ポイント低下。

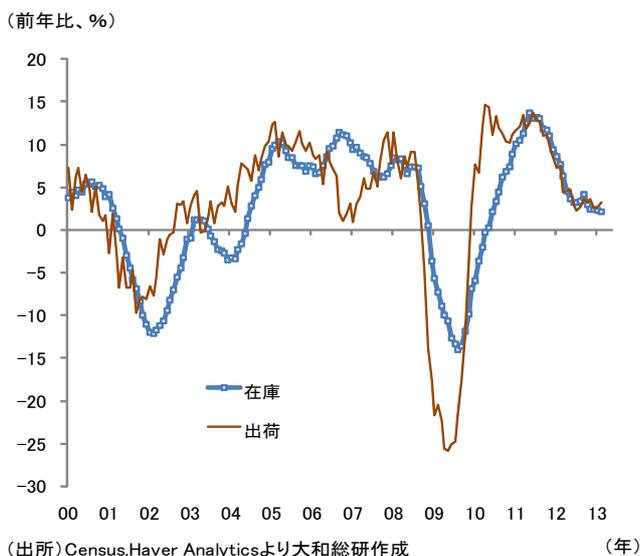
### 鉱工業生産と設備稼働率



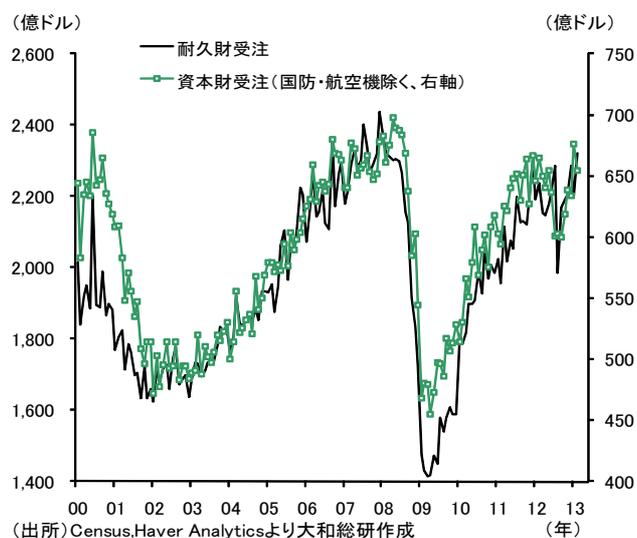
### 企業の景況感



### 出荷・在庫



### 耐久財受注



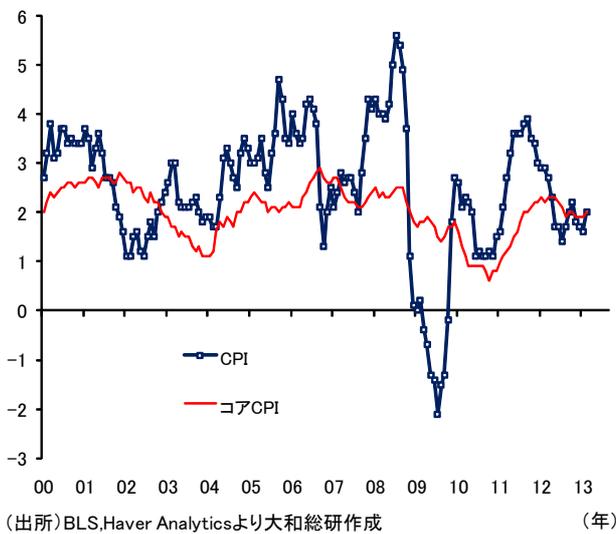
## 物価動向

◆2月のCPI（消費者物価指数）、コアCPIはともに前年比2.0%増となり、引き続き2%程度の水準で推移。

◆WTI原油先物価格（直近限月）は、88.71ドル/バレル（4月15日現在）。

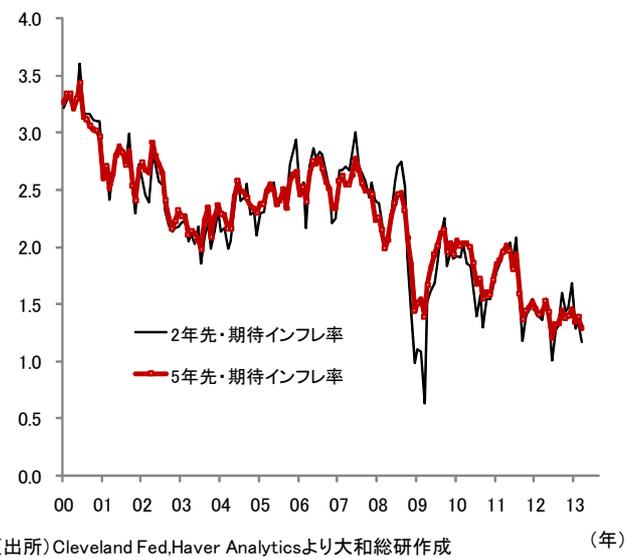
### 消費者物価指数

(前年比、%)

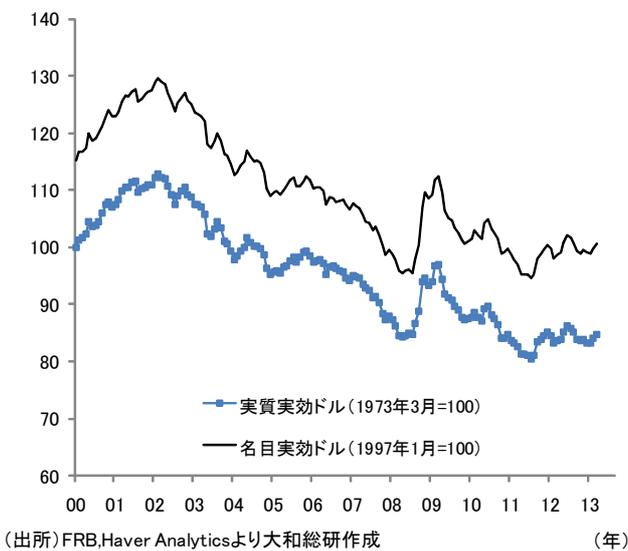


### 期待インフレ率

(%)



### 実効為替レート(ブロード)



### コモディティ価格

(ドル/バレル)

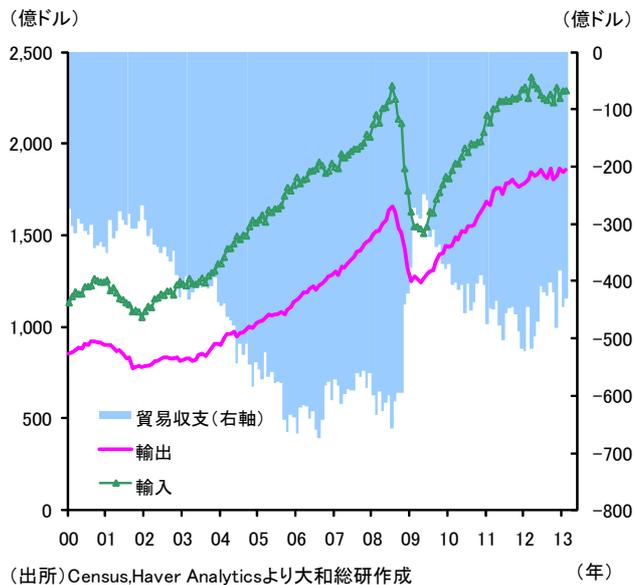
(1967=100)



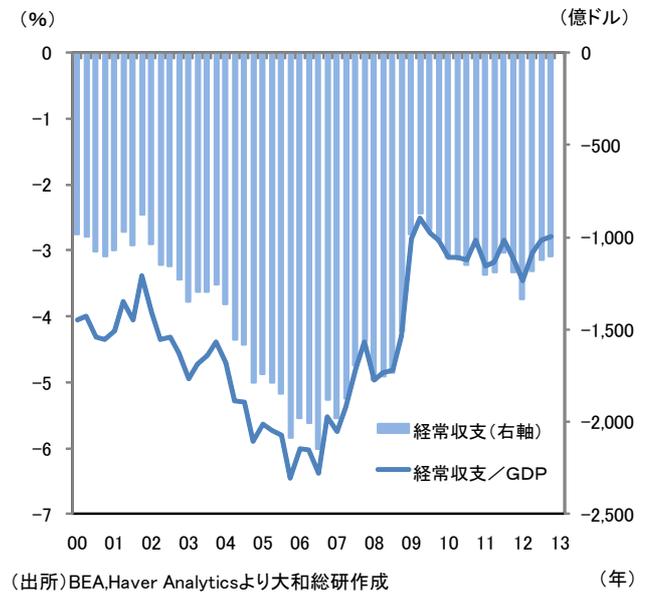
## 輸出入・経常収支

- ◆2月の貿易収支は429.6億ドルの赤字。
- ◆輸出は前月比0.8%増、輸入は同0.0%増と前月と同程度の水準であった。
- ◆地域別輸出では、日本向けと欧州向けが前年比で減少、中国向けは増加。輸入においても、中国からの輸入は前年比の増加幅が拡大。日本、欧州からの輸入は減少が続いている。

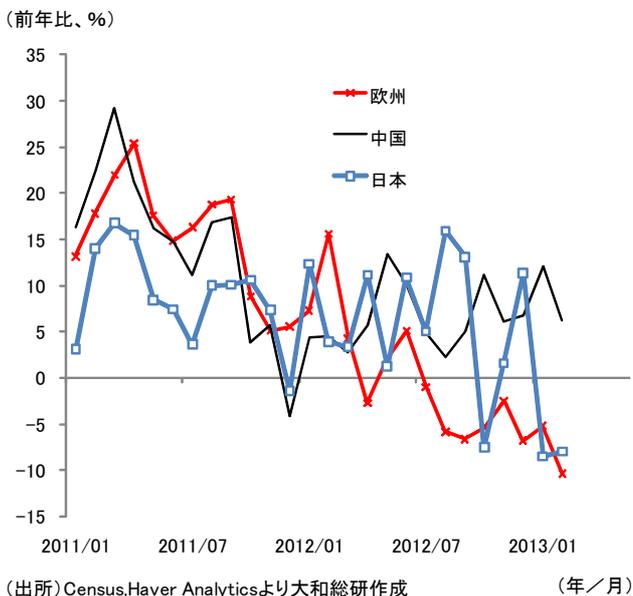
### 貿易収支動向



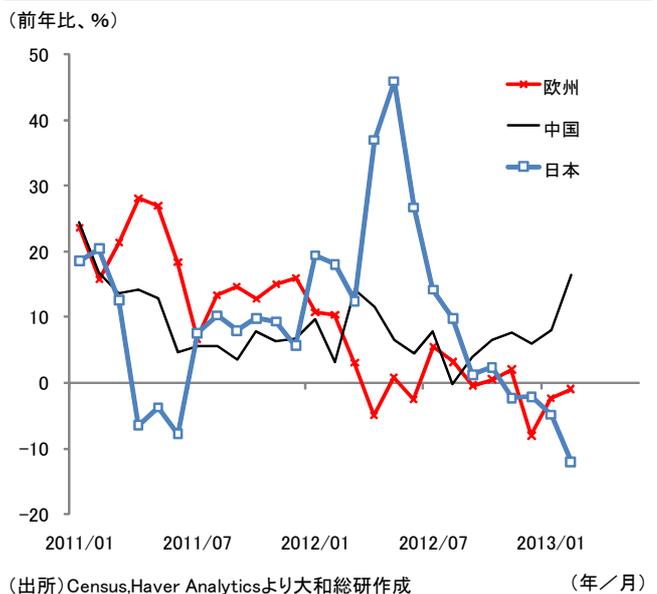
### 経常収支の推移



### 国・地域別輸出動向



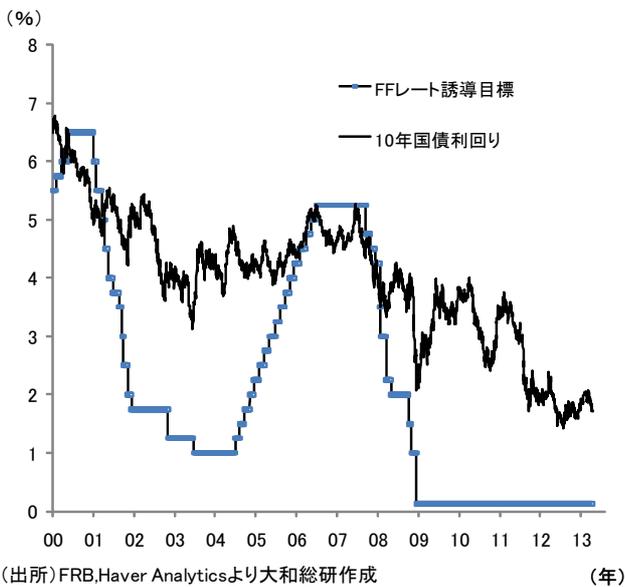
### 国・地域別輸入動向



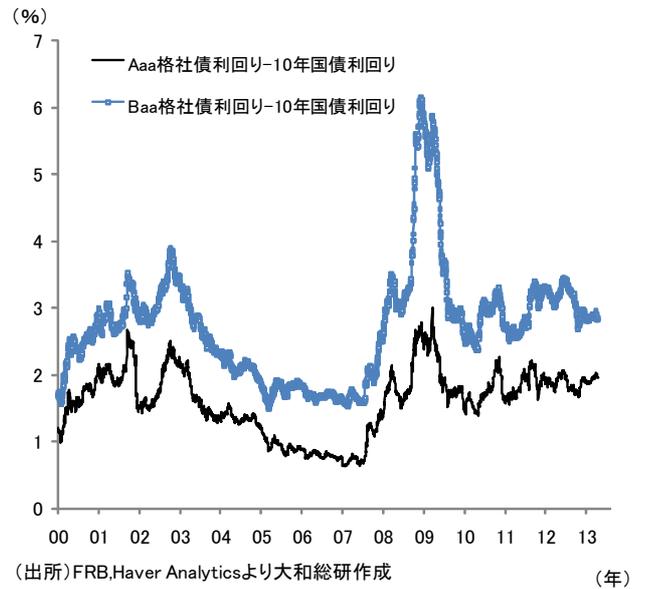
## 金融・財政

- ◆長期金利は1.72%（4月15日現在）と、依然として低水準にある。
- ◆QE3を受け、2月半ば以来、FRBの資産残高は3兆ドル超が続いている。
- ◆FRBによる米国債保有高は、4月初めに1兆8,000億ドルを超した。
- ◆連邦政府の財政収支は、引き続き大幅な赤字が続いているものの、赤字幅が緩やかに減少している。

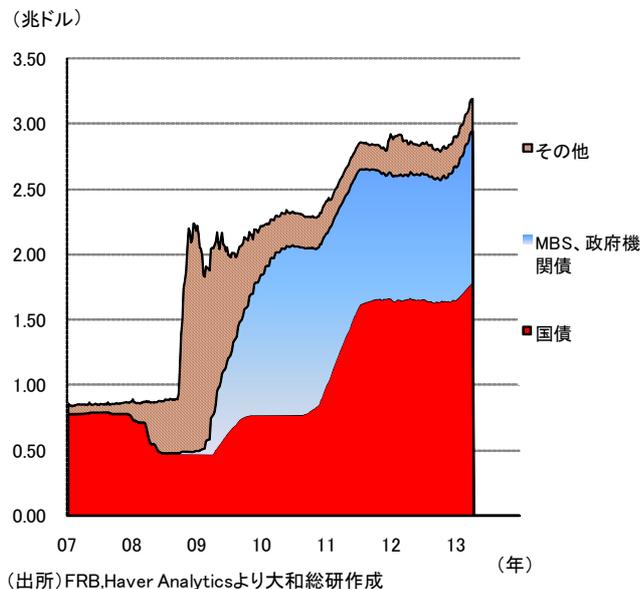
### 政策金利・長期金利



### クレジットスプレッド



### FRBの資産構成



### 連邦政府の財政収支

